

## 平成 28 年度 JCII 標準化調査研究成果発表会開催要旨

### 開催要旨

弊機構が中心となり国・公共団体、業界団体等の専門家と共に「標準化調査研究企画委員会」で取り組んでおり、これまでに実施した調査研究の成果を発表致します。

平成 28 年度は、「高分子材料の耐久性評価」及び「食品用器具・容器包装に使用されるポリスチレンの材質中の添加剤試験方法と添加剤の食品への移行について」です。

また、特別講演として塩ビ食品衛生協議会 常務理事 石動正和様による「内外の食品接触材料製品の規制動向」についてご講演頂きます。

申込方法の詳細につきましてはリーフレット又は弊機構 HP (<http://www.jcii.or.jp/>) を参照下さい。

### 開催プログラム

#### JCII 標準化調査研究 成果報告 1

##### タイトル：「高分子材料の耐久性評価」

概要：現在、高分子材料の耐候性データは数多く存在するが、それらは高分子材料の耐久性予測に活用できる状況には至っていない。そこで、本調査研究ではポリプロピレンをベースとして、耐候性に大きく影響する添加剤を変化させたモデル材料を選定・作製し、耐候処理後の材料に対して多面的に試験及び評価を行い、高分子材料の耐久性予測に活用できるデータベースを構築することで、品質保証及び品質管理等を目的とした耐久性試験が効率的、かつ、効果的に提供できるようになる。

#### JCII 標準化調査研究 成果報告 2

##### タイトル：「食品用器具・容器包装に使用されるポリスチレンの材質中の添加剤試験方法と添加剤の食品への移行について」

概要：食品と接触する容器・包装等に用いるプラスチックには多くの添加剤が使用されている。これら添加剤については、配合量等不明な点が多く、添加剤の食品への移行による健康影響が懸念される。今回、一般的に用いられる添加剤を配合したポリスチレン樹脂試料を作製し、材質中の添加剤測定方法を検討するとともに、食品への移行量を検討したので報告する。

### 特別講演

#### 「内外の食品接触材料製品の規制動向」

塩ビ食品衛生協議会 常務理事 <sup>いずるぎ</sup> 石動 正和 様

【お問合せ先】  
一般財団法人化学研究評価機構

(東京) 企画開発部 担当 加藤 (大阪) 高分子試験評価センター 担当 早川・岩倉  
TEL: 03-5823-5521 TEL: 06-6788-8134